

フロントランナーの系譜

先端生命科学専攻
博士課程2005年修了

福田 七穂

現在：理化学研究所
在職



研究者を目指す道を選択してみて

私は博士号取得後、理化学研究所でポスドクとして研究をしています。現在は自分の選択に納得していますが、進路選択の際には、不安が邪魔をしてなかなか決断できませんでした。結果的に、研究を進める過程や学会発表の経験をする中で、次第に不安が軽減されてゆき、ポスドクとして挑戦してみる気持ちになったのですが、今から振り返ってみると、必要以上の不安に振り回されてしまっていたように思います。出来るかどうかは実際にやってみないと分からないですし、本気になってみることで好転する面もある気がします。選択に不安はつきものですが、自分がやりたい(かも)と思えるものさえ見つけたら、あまり迷わずに挑戦してみれば良いのではないのでしょうか。

また、キャリア選択時は、「ここで道を選び間違えたら先はない」ような気持ちでいましたが、仕事をするようになって、研究でも他の仕事でも必要とされる能力は共通するものが多いことに気がつきました。研究に必要な能力を高めるように努力してゆくことは、例え結果的に選んだ方向を転換することになったとしても、決して無駄にはならず新しい形で生かされると思います。

今後もキャリアに関わる選択をする機会が多くあると思いますが、挑戦する気持ちと柔軟性を備えて、自分なりのキャリアを築いて行きたいと思っています。

「本音で語るキャリアデザイン」
博士課程在学中の学生をはじめ
橋先生による「新領域における
修了生本音トークとその
働きカフェテリアで懇親会が
行われました。